

QRT Viewer

この章では、Tools メニューに含まれている QRT Viewer の使用方法を説明します。IP Phone Problem レポートのリストを生成する方法については、「IP Phone Problem レポートの一覧表示」を参照してください。

QRT Viewer を使用すると、Quality Report Tool (QRT) によって生成された IP Phone Problem レポートを表示できます。QRT は、Cisco CallManager IP Phone に関する音声品質および一般問題のレポート ツールです。Cisco Extended Functions サービスは QRT 機能をサポートしています。Quality Report Tool の詳細については、『Cisco CallManager Serviceability System Guide』の P.10-1 の「Quality Report Tool」を参照してください。QRT の設定および使用方法については、『Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド』を参照してください。Cisco Extended Functions サービスの詳細については、『CiscoCallManager Serviceability System Guide』の P.3-1 の「Cisco CallManager Services」を参照してください。QRT Viewer を使用すると、生成された IP Phone Problem レポートのフィルタリング、フォーマット、および表示を実行できます。

QRT は、Cisco Extended Functions NT サービスを使用するため、Cisco Call Back と同じアーキテクチャを共有します。また QRT は、Cisco Call Back と同じシステム要件、冗長性、依存関係、制限、インストレーション、およびアクティベーションも共有します。

IP Phone Problem レポートの一覧表示

ここでは、QRT Viewer を使用して Cisco CallManager IP Phone Problem レポートを一覧表示する方法を説明します。



Quality Report Tool (QRT) は、1 コールに 1 回だけ、ストリーミング データを収集します。このため、A と B が通信し、両方が同じコールのレポートを送信した場合、最初のレポートにだけストリーミング データが含まれます。

手順

ステップ 1 Cisco CallManager Administration ウィンドウから、

Application > Cisco CallManager Serviceability の順に選択します。

Cisco CallManager Serviceability ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 Tools > QRT Viewer の順に選択します。

IP Phone Problem Reporting ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 Problem レポートを表示する、使用可能な Cisco CallManager サーバを選択します。



(注)

CEF Service Activation は設定変更が可能なため、ユーザがサーバを変更している場合があります。

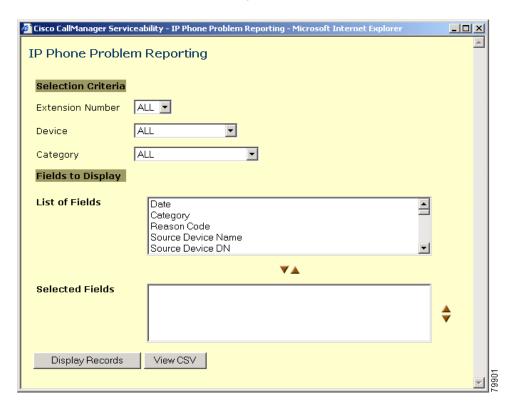
ステップ 4 Date: ボックスの From: に開始日を入力します (例: 2/2/2002)。

ステップ 5 Date: ボックスの To: に終了日を入力します (例: 2/3/2002)。

- ステップ 6 From Time: 選択ボックスの下向き矢印をクリックして、収集する問題レポート情報を開始する時、分、秒を選択します(例:3時、45分、0秒)。
- **ステップ7** To Time: 選択ボックスの下向き矢印をクリックして、収集する問題レポート情報 を終了する時、分、秒を選択します (例: 23 時、59 分、59 秒)。
- ステップ8 Get Logs をクリックします。

選択された時間枠に選択されたサーバで入手可能な、すべての電話機の問題レポートを収集します。IP Phone Problem Reporting のフォーマット ウィンドウが表示されます。図 13-1 を参照してください。

図 13-1 IP Phone Problem Reporting のフォーマット ウィンドウ



- ステップ 9 Extension Number ドロップダウン メニューから、レポートに含める内線番号 (複数可) を選択します。
- ステップ **10** Device ドロップダウン メニューから、レポートに含めるデバイス(複数可)を 選択します。
- ステップ 11 Category ドロップダウン メニューから、レポートに含める問題カテゴリを選択します。
- ステップ **12** List of Fields ボックスから、レポートに含めるフィールドを選択し、下向き矢印をクリックして Selected Fields ボックスに配置します。



(注)

ここでフィールドを選択した順序で、レポートにフィールドが表示されます。

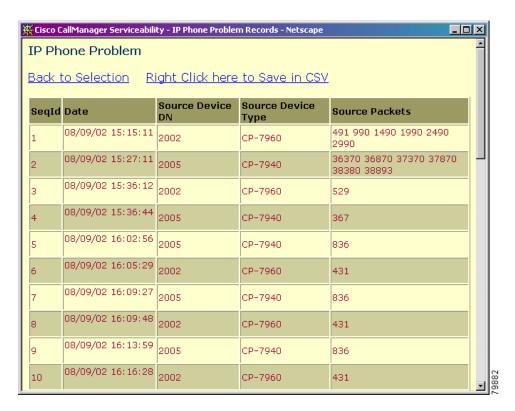
ステップ 13 Display Records をクリックすると、ブラウザにレポートが表示されます。図 13-2 を参照してください。



(注)

このレポートを Excel または同等のアプリケーションを使用して表示するには、図 13-1 に示されている View CSV をクリックします。また、このレポートを CSV 形式で保存するには、図 13-2 に示されている Right Click here to Save in CSV をクリックします。

図 13-2 IP Phone Problem のレポート結果



関連項目

- *Cisco CallManager Serviceability System Guide* □ P.10-1 Quality Report Tool
- 『Cisco CallManager Serviceability System Guide』 P.3-1 「Cisco CallManager Services |
- Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド

■ IP Phone Problem レポートの一覧表示